



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2588 URL <https://premiumwater-hd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩尾 陽平  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員経営管理本部長 (氏名) 清水 利昭 (TEL) 03(6864)0980  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,065	8.4	1,459	△16.7	1,186	△23.8	696	△28.9	696	△28.9	3,149	252.0
2023年3月期第1四半期	18,505	16.9	1,751	22.1	1,557	22.0	980	22.0	980	22.0	894	11.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	23.12	22.22
2023年3月期第1四半期	32.98	31.73

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	91,034	21,354	21,337	23.4
2023年3月期	86,872	19,640	19,623	22.6

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	11.00	—	49.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	7.2	8,200	11.6	4,800	△20.8	160.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	29,644,432株	2023年3月期	29,570,192株
2024年3月期1Q	34,143株	2023年3月期	34,143株
2024年3月期1Q	29,536,864株	2023年3月期1Q	29,302,393株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2,000,000.00	円 銭 2,000,000.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	2,000,000.00	2,000,000.00

(注) 上記のA種優先株式については、2023年8月10日開催の取締役会において、2023年8月31日(予定日)に取得及び消却する旨の決議をしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流増加等により、回復の兆しが見られました。一方、緊迫した世界情勢や金融資本市場の変動リスク、資源価格や原材料価格の高騰によるインフレ圧力により、先行きは不透明な状態となっています。こうした状況下、在宅時間の長期化や内食需要の高まりは続いており、消費者の生活様式や価値観の変化に伴い、生活必需品を中心とした個人消費は引き続き好調な状況となっています。当社グループにおいても、「冷温水が簡単に利用できる」、「日本の良質な天然水が定期的に自宅まで配達される」といった利便性や安全性等によって、宅配水（ウォーターサーバー）への認知度が高まり、当社グループの事業環境へ好影響を及ぼしています。宅配水業界においても、宅配水事業の需要が今後も見込まれることから、異業種参入も見られる等、活況を呈しています。当社グループは同業界最大手として、宅配水市場拡大を引き続き牽引できるよう努めてまいります。

また、当社グループでは、お客様に安心・安全で高品質な飲料水を安定的に提供できる体制の構築に努めてまいりました。さらに、当社グループでは、脱炭素社会を目指すことをはじめとする環境保全と利益創出の同時実現をビジョンの一つと捉え、天然水という日本の資源を継続的に守り、これを育むための取組みを行っております。そして、水資源を使用する者の責任として、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて取組み範囲を拡大させ、積極的に社会的責任を果たすことに努めております。

当第1四半期連結累計期間においては、新規顧客の獲得に関して、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じながらのデモンストレーション販売の実施やテレマーケティング・WEBによる非接触型の営業活動を積極的に展開した結果、順調に推移いたしました。さらに、お客様からのお問合せサービスの対応強化等、既存顧客の継続率向上につながる様々な施策を進めた結果、売上収益は20,065百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

営業利益については、保有顧客数の増加に伴う各工場の稼働率の向上による製造原価の低減や物流費の抑制等に努めましたが、成長投資としての人員拡大等により1,459百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

なお、税引前四半期利益は1,186百万円(前年同期比23.8%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は696百万円(前年同期比28.9%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び資本の状況

##### (資産)

資産は前連結会計年度末に比べて4,161百万円増加し、91,034百万円となりました。これは、主に現金及び現金同等物が増加したことによるものであります。

##### (負債)

負債は前連結会計年度末に比べて2,447百万円増加し、69,680百万円となりました。これは、主に営業債務及びその他の債務が増加したことによるものであります。

##### (資本)

資本は前連結会計年度末に比べて1,713百万円増加し、21,354百万円となりました。これは、主に親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上による利益剰余金の増加、投資有価証券の売却に伴うその他の資本の構成要素から利益剰余金への振替による増加、配当による利益剰余金の減少によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は29,335百万円と前連結会計年度末（25,737百万円）に比べて3,598百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は4,471百万円(前第1四半期連結累計期間は1,901百万円の獲得)となりました。これは、主に営業債務及びその他の債務が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は2,939百万円(前第1四半期連結累計期間は152百万円の支出)となりました。これは、主に投資有価証券の売却による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に支出した資金は3,829百万円(前第1四半期連結累計期間は2,466百万円の支出)となりました。これは、主に有利子負債の返済、配当金の支払いが増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	25,737	29,335
営業債権及びその他の債権	8,580	9,729
棚卸資産	1,692	1,490
その他の金融資産	860	656
その他の流動資産	3,691	2,908
流動資産合計	40,562	44,121
非流動資産		
有形固定資産	25,567	26,742
のれん	75	75
無形資産	2,411	2,475
持分法で会計処理されている投資	970	1,003
その他の金融資産	1,745	1,964
繰延税金資産	4,047	3,246
契約コスト	11,488	11,402
その他の非流動資産	2	1
非流動資産合計	46,310	46,912
資産合計	86,872	91,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	10,762	13,815
有利子負債	14,296	15,560
未払法人所得税	699	241
その他の流動負債	1,853	1,246
流動負債合計	27,612	30,864
非流動負債		
有利子負債	39,276	38,471
引当金	130	130
その他の非流動負債	212	213
非流動負債合計	39,619	38,815
負債合計	67,232	69,680
資本		
資本金	4,584	4,610
資本剰余金	4,095	4,135
利益剰余金	10,962	12,553
自己株式	△80	△80
その他の包括利益累計額	62	117
親会社の所有者に帰属する持分合計	19,623	21,337
非支配持分	16	16
資本合計	19,640	21,354
負債及び資本合計	86,872	91,034



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上収益	18,505	20,065
売上原価	2,769	3,236
売上総利益	15,735	16,828
その他の収益	6	26
販売費及び一般管理費	13,990	15,383
その他の費用	0	11
営業利益	1,751	1,459
金融収益	45	45
金融費用	224	247
持分法による投資損益(△は損失)	△15	△72
税引前四半期利益	1,557	1,186
法人所得税費用	577	489
四半期利益	980	696
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	980	696
非支配持分	△0	△0
四半期利益	980	696
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	32.98	23.12
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	31.73	22.22

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期利益	980	696
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産の公正価値の純変動額	△59	2,463
純損益に振り替えられることのない項目合計	△59	2,463
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	2	△0
在外営業活動体の換算差額	△28	△10
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△26	△10
税引後その他の包括利益	△85	2,453
四半期包括利益	894	3,149
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	894	3,149
非支配持分	△0	△0
四半期包括利益	894	3,149

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2022年4月1日	4,450	3,935	5,985	△80	△9	14,281	16	14,297
四半期包括利益								
四半期利益	-	-	980	-	-	980	△0	980
その他の包括利益	-	-	-	-	△85	△85	-	△85
四半期包括利益合計	-	-	980	-	△85	894	△0	894
所有者との取引額等								
剰余金の配当	-	-	△740	-	-	△740	-	△740
新株の発行(新株予約 権の行使)	3	1	-	-	-	4	-	4
株式報酬取引	-	26	-	-	-	26	-	26
所有者との取引額等合計	3	27	△740	-	-	△709	-	△709
2022年6月30日	4,453	3,963	6,225	△80	△94	14,466	16	14,483

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2023年4月1日	4,584	4,095	10,962	△80	62	19,623	16	19,640
四半期包括利益								
四半期利益	-	-	696	-	-	696	△0	696
その他の包括利益	-	-	-	-	2,453	2,453	-	2,453
四半期包括利益合計	-	-	696	-	2,453	3,149	△0	3,149
所有者との取引額等								
剰余金の配当	-	-	△1,503	-	-	△1,503	-	△1,503
新株の発行(新株予約 権の行使)	26	18	-	-	-	44	-	44
株式報酬取引	-	22	-	-	-	22	-	22
利益剰余金への振替	-	-	2,397	-	△2,397	-	-	-
所有者との取引額等合計	26	40	894	-	△2,397	△1,436	-	△1,436
2023年6月30日	4,610	4,135	12,553	△80	117	21,337	16	21,354

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,557	1,186
減価償却費及び償却費	2,288	2,571
金融収益	△45	△45
金融費用	203	247
持分法による投資損益 (△は益)	15	72
契約コストの増減額 (△は増加)	△172	86
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	415	△1,149
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△300	3,017
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16	201
その他	△284	△992
小計	3,660	5,195
利息の受取額	0	18
利息の支払額	△216	△186
法人所得税の支払額	△1,542	△556
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,901	4,471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△867	△580
投資有価証券の取得による支出	-	△140
投資有価証券の売却による収入	-	3,456
貸付けによる支出	△2	△6
貸付金の回収による収入	16	10
敷金及び保証金の差入による支出	-	△2
敷金及び保証金の返還による収入	700	201
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152	2,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期有利子負債の収入	542	-
長期有利子負債の支出	△2,279	△2,571
配当金の支払額	△733	△1,302
新株予約権の行使による収入	4	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,466	△3,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△700	3,598
現金及び現金同等物の期首残高	20,322	25,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,621	29,335

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## ① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、ナチュラルミネラルウォーターの製造及び宅配形式による販売が主要な事業内容であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

## ② 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益及び算定上の基礎、希薄化後1株当たり四半期利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	32円98銭	23円12銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	980	696
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円)		
資本に分類される優先株式への配当(百万円)	13	13
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	966	682
普通株式の加重平均株式数(千株)	29,302	29,536
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	31円73銭	22円22銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	966	682
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	966	682
普通株式の加重平均株式数(千株)	29,302	29,536
新株予約権による普通株式増加数(千株)	1,159	1,192
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる普通株式の加重平均株式数(千株)	30,461	30,728

## (重要な後発事象)

## (A種優先株式の全部取得及び消却)

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、当社定款第12条の2の規定に基づきA種優先株式（以下「本優先株式」といいます。）を全部取得すること及び会社法第178条に基づき本優先株式の消却を行うことを決議いたしました。

## 1. 自己株式（本優先株式）の取得及び消却を行う理由

本優先株式の優先配当の支払い負担の低減や資本効率の改善を目的とし、本優先株式の全部取得及び消却を行うことといたしました。

## 2. 自己株式（本優先株式）の取得の内容

(1) 取得する株式の種類	A種優先株式
(2) 取得する株式の総数	28株 (発行済A種優先株式総数に対する割合100%)
(3) 株式の取得対価の内容	金銭
(4) 1株当たりの取得価額	100,838,356円
(5) 株式の取得価額の総額	2,823百万円
(6) 取得先	株式会社ブロードピーク
(7) 取得予定日	2023年8月31日

(注) 上記1株当たりの取得価額は、発行時の1株当たりの払込金額相当額（100百万円）に日割による経過配当金相当額（当社定款第12条の2に従い計算される優先株配当金相当額）を加算した額です。

## 3. 自己株式（本優先株式）の消却の内容

(1) 消却する株式の種類	A種優先株式
(2) 消却する株式の総数	28株 (発行済A種優先株式総数に対する割合100%)
(3) 消却予定日	2023年8月31日